

グループわ北区会

北区会たより第19号

1. 「太陽と緑の道」のボランティア

私は昨年4月から、神戸市の自然歩道「太陽と緑の道」のボランティア・パトロール員をしています。「太陽と緑の道」は、六甲山から帝釈・丹生山、そして雌岡山まで、北区・西区の太陽と緑の豊かな地域を中心にしたハイキングコースで、現在26コースあり総延長は約167kmだそうです。パトロール員の任期は3年で、1年毎に担当コースが変わります。その任務は月一回パトロールして、ハイキング道の現況確認、道標設置、草刈り、清掃等を行い、その結果を市へ報告します。

私は昨年、コースNo17. 双坂池～岩谷峠～帝釈山～丹生山（4.6km）、そして今年は、No2. 道場～鎌倉峡出合～平田配水場～二郎（上級者向け 7.0km、一般向け 5.0km）を担当しています。私の健康保持に大いに役立っています。

健康福祉 16期生 中須賀 毅



帝釈山山頂からの眺望



鎌倉峡

2. 桜の木への散水ボランティアに参加して

シルバーカレッジ創立20周年を記念して、カレッジ入り口の土手に桜の木24本が植樹され、これらの木に、昨年4月から散水するボランティアに、私は参加することになりました。

最初は、何箇所かある水栓蛇口を探し回ったり、教えてもらっていたホースの繋ぎ方が悪く、水漏れしたりで、大変苦労しました。その後順調に散水作業を始めましたが、冬場に入り、指先が冷たくなり、作業がやりずらくなり、ビニールの手袋を着用しました。

ある時は、水栓ボックスの中に、気分が悪くなるぐらい蟻が多くかたまっていたので、水攻めで除去し、またある時は、ボックス内にナメクジが50匹ぐらい居たりして驚き、手袋で取り出しましたが、手袋にヌメリが残り、洗うのに苦労しました。

多くの桜の木があるため、散水ホースが土手に配置されているのですが、芝刈りの人がホースを切断し、知らずに栓にホースを繋ぎ、水の吹き出しが起こることが2～3回ありました。また、最近あったことですが、ホースが見当たらなくなり、探し回ると土手の上の溝にホースが放置されているのが判り、やれやれでした。

このボランティア作業は北区会員では4名ですが、皆さんも、いろいろなことを経験していることと思います。

今年の4月には桜の花が咲き、これを見たときは、今までの苦労が報われ、感無量でした。これらの桜は、江戸彼岸桜で長寿なさくらの木です。十年後には立派な木となり1000年は生き続けることでしょう。

食文 14期生 北山 悦子

3. 在校生への地域のボランティア・特別支援の紹介

6月23日神戸シルバーカレッジ在校生へのボランティア・特別支援報告会に出席し、私がやっている小学校の特別支援ボランティアの紹介をしました。この日は、北区、兵庫区の在校生200人程が参加していました。

あらかじめ事務局の学生支援リーダー田阪義英さんから、学生の皆さん方にボランティアへの関心と意欲の向上を図りたいと話がありました。私は特別支援（特別支援とは学校で配慮の必要な子供達へ勉強や運動等の付き添いをする）をすることになって5年になり、体験していることを2例紹介しました。

1時間目の授業が終わった時に「仮名ちゃん、2時間目は体操ですよ。今日はいい天気だから佐伯先生と運動場に行きなさいよ。」と、なかよし学級の担任の先生が声をかけますが、体操の苦手な仮名ちゃんは返事をしません。その内に鐘が鳴り2時間目の始まりです。私は先生から指示があったので「さあ、仮名ちゃん体操に行こう。」と誘いましたが自分の席に座ったまま立ち上がりません。先生からは「早く行きなさい。」と叱咤されます。しばらくして交流クラスのお友達が2名誘いに来てくれます。仮名ちゃんもお友達と一緒に運動場に行きます。運動場では30人程の児童達が交流クラスの先生の指導よろしく、いろいろと競技をしており、遅れて参加した仮名ちゃんは、皆と同じ競技に参加せず自分のペースで単独行動です。

「ブランコ」「滑り台」「鉄棒」、等々やるでもなく、周りをブラブラと散策です。私も一緒に付き添いということで散策です。クラスのお友達ともコミュニケーションの苦手な仮名ちゃんは誰とも話をしません。授業が終わり、なかよし学級に戻りました。結果を担任の先生に報告しました。「そうよね。なかなか皆となれないみたいね。それで結構です。ありがとうございました。」と先生から返答がありました。あ！私はこれで少しは役にたったのか、と思いました。

また別の男子の児童の例です。5年生ですが大分勉強が遅れており、先生からは算数の足算のプリントを渡されますが、見ると、 $2+3=$ 、 $5+5=$ 、 $4+6=$ 、・・・とか10問題ほどあります。この計算には、器具として10個球が並び、それが5段ならんだ、20センチ四方のそろばんのような器具を使用しています。2+3の場合は、一段目から1、2と球を数えて左端に持っていきます。次に2段目から1、2、3と球を数えて左端に持っていきます。そして一緒に合わせていくらですか。と問います。一段目から1、2、2段目から3、4、5と数えます。答えは5です。と答えます。大きな声で正解と私は云います。児童はにっこりとします。

私はこの特別支援によって、子供達から元気をもらっており、世の中、老いも若きも「持ちつ持たれつ」の気持ちが大切だなと、いつも思っていると在校生に以上のような話をしました。

翌日24日中央体育館で開催している生涯体育大学（旧老体）のバトミントンに参加しました。ある女性が近付いてきてSC22期の音文コースの在校生ですと言い。昨日の特別支援のお話拝聴しました。先のことはわかりませんが、3年後の卒業時、また特別支援のお話いろいろ教えてください。と云われ彼女が特別支援に関心を持ったということに、私は大変嬉しく思いました。今後とも小学校特別支援ボランティアに参加よろしくお願いします。

国際8期生 佐伯 義昭

4. 秋のグラウンドゴルフ大会の案内

グループわでは10月17日(土)しあわせの村球技場でグラウンドゴルフ大会を実施します。参加チームの募集は、後日グループわからあります。3名1チームで32チーム募集します。参加費は1チーム1500円です。北区会は運営を担当します。多くの参加を期待しています。

また、北区会では、これに先立ち10月2日(金)しあわせの村球技場（日程未確定）で北区会グラウンドゴルフ大会を開催いたします。3名1組で応募願います。

当日は懇親昼食会を挟んで、表彰式を実施します。参加費は昼食代として500円です。募集は日程が確定する8月末に実施します。この大会にも多くの参加者を期待しています。

以上